

復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前

【司会の役割や話し手の意図を捉える問題】 **レベル6・7**

代表委員会では、一年生を迎える会のプログラムについて、話し合いをしています。次の【プログラムの案】と【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【プログラムの案】

- 1 はじめのことは
校歌
- 2 ペンダントのプレゼント
- 3 ゲーム（じゃんけん列車）
- 4 児童代表のことば
- 5 歌（一年生になったら）
- 6 校長先生のお話
- 7 おわりのことば
- 8

【話し合いの一部】

大木 ペンダントのプレゼントよりも前に、全校でゲームをしたほうがよいと思います。

上田（司会） 大木さんは、なぜ、そう思うのですか。

大木 ゲームをすれば、楽しい雰囲気になると思うからです。

上田（司会） A

竹下 ぼくは、一年生には、まずきんちようをとってほしいので、ゲームより先に、ペンダントのプレゼントがあったほうがよいと思います。

上田（司会） B

大木 竹下さんの意見を聞いて、ぼくもペンダントのプレゼントがあつてから、ゲームをしたほうがもっと楽しくできるのかなと思いました。

（話し合いは続く）

1 司会の上田さんは「大木さんは、なぜ、そう思うのですか。」と発言することから、この話合いの中で、どのように話合いを進めようとしていると考えられますか。
あてはまる番号を書きましょう。

- ① 話合いの意見を一つだけにしぼって、話合いを進めようとしている。
- ② 話合いの意見に対して評価をしながら、話合いを進めようとしている。
- ③ 出された意見の理由を明確にしながら、話合いを進めようとしている。
- ④ これから話し合う内容を想像しながら、話合いを進めようとしている。
- ⑤ 話合いの時間を短く区切りながら、話合いを進めようとしている。

2 司会の上田さんの発言AとBには、どんな言葉が入りますか。あてはまる番号をそれぞれ書きましょう。

- ① 私は、大木さんの意見に賛成です。
- ② 大木さんの意見について、何か意見はありませんか。
- ③ 竹下さんは、なぜ、そう思うのですか。
- ④ 大木さんは、竹下さんの意見についてどう思いますか。
- ⑤ 私は、竹下さんの意見に反対です。

A
B



復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【情報に関係付けながら話し合う問題】

1 次の文を読んで、後の問題に答えましょう。

図書委員の木村さんたちは、読書集会で読み聞かせをする本を決めることにしました。次は、【各学年からの希望】をもとにした【話し合いの様子の一部】です。木村さんたちがどのように話し合いをしているのか、その説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。 **レベル6・7**

【各学年からの希望】

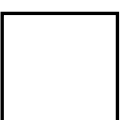
【話し合いの様子の一部】

各学年からの希望を
もとに、読書集会で読
み聞かせをする本を決
めよう。

- ・動物が出てくる本（二年）
- ・昔話の本（二年）
- ・おもしろい本（三・四年）
- ・みんながよく知っている本（五・六年）

木村 五年生が希望している、みんながよく知っ
ている本なら、二年生が希望している、昔話
の本にも当てはまるかもしれないよ。
水上 昔話の本の中には、動物が出てくるものが
多いよね。
山本 そうだね。動物が出てくる昔話の中には、
おもしろい話のものもありそうだよ。
大石 それなら、みんなの希望を生かせそうだ
ね。わたしたちで、候補の本を挙げて、アン
ケート調査を試みたらどうかかな。
木村 それはよい考えだね。
～（話し合いが続く）～

- ① 各学年からの希望をもとに、目的に合わないものを見つけようとして話し合っている。
- ② 各学年からの希望を関係付けながら、希望に合う本を選ぼうと話し合っている。
- ③ 各学年からの希望それぞれについて、関係する本を多く出そうとしている。
- ④ 各学年からの希望を比べて、ちがう点を見つげながら話し合っている。



2 次の文を読んで、後の問題に答えましょう。

次は、代表委員会に出された【保健委員会からの提案の一部】と、それを聞いている六年生代表の【石井さんの心の中の声】です。A・B・Cは、どのような聞き方をしていきますか。それらについて説明しているものを、あとの1から5までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【保健委員会からの提案の一部】

最近、給食後に歯みがきをしない人が増えたことが気になります。みなさんは、食べた後に歯みがきをしていますか。中には、みがき始めがおそい人やおしゃべりばかりしていて、みがいていない人もいます。

そこで保健委員会から、来月の歯ッピ―週間において取り組むことを、次のように提案します。

それは、「ま・み・む・め・も」を合い言葉に取り組むことです。

ま・・・まいにち
み・・・みがいて
む・・・むしばゼロ
め・・・めんどくさがらず
も・・・もくもくと

これらを合い言葉に、虫歯ゼロを目指して、歯みがきを忘れずにしましょう。

【石井さんの心の中の声】

A 歯みがきの取組の問題点などをもとに、提案しているんだな。

B 六年生は「まいにち」と「めんどくさがらず」について、課題があると思うな。

C 低学年の子達にも分かりやすい合い言葉だな。歯みがきタイムの前にも声をかけ合いやすいから、きつと効果が上がるだろうな。

- ① 自分が予想したとおりかどうかを確かめながら聞いている。
- ② 目標の達成につながる提案であるかを評価しながら聞いている。
- ③ 提案に対して反対の立場に立ち、疑問をもちながら聞いている。
- ④ 提案の内容と自分たちの様子とを関連付けながら聞いている。
- ⑤ どのようなことをもとにした提案なのかを考えながら聞いている。



A	
B	
C	